



I-URIC フロンティア

コロキウム 2019

プログラム

【日程】 2019.12.10 (火) ~ 2019.12.11 (水)

【会場】 つま恋リゾート彩の郷



目次

I-URIC フロンティアコロキウム 2019 について.....	- 2 -
プログラム構成.....	- 3 -
スケジュール.....	- 4 -
分科会1 「多様性」異なるもの間の相互作用.....	- 5 -
分科会2 「予測」とは何か?	- 6 -

I-URIC フロンティアコロキウム 2019 について

大学共同利用機関法人 4 機構を跨ぐ異分野融合・新分野創成の取組を促進するため、2016 年度に創設した「I-URIC フロンティアコロキウム」を開催します。今年度は、新たに二つのテーマ、『「多様性」異なるものの間の相互作用』、『「予測」とは何か?』を設定し、議論するなかで共同研究への発展の可能性を探ります。

今年度は、ROIS/I-URIC 若手研究者クロストークと同日同場所の開催とし、多様な研究者との交流が行えるよう、コロキウムとクロストークの合同でのイベントも企画します。

開催日時	2019年12月10日(火)～2019年12月11日(水)
開催場所	つま恋リゾート彩の郷
運営委員会	安達 真弓 (人間文化研究機構総合人間文化研究推進センター 研究員) 小泉 周 (自然科学研究機構研究力強化推進本部 特任教授) 吉村 信次 (自然科学研究機構核融合科学研究所 准教授) 雨宮 健太 (高エネルギー加速器研究機構物質構造科学研究所 教授) 村上 大輔 (情報・システム研究機構統計数理研究所 助教)

○経費について

- ・参加費は、無料となります。
- ・旅費については、所属する機構（4機構以外の場合は、招聘する機構）の旅費規程に基づき支給いたします。
- ・夕食の際の飲み物（アルコール、ソフトドリンク等）は参加者各自にご負担いただきます。受付時に3,000円徴収いたします。

○アクセスについて

- ・JR掛川駅（東海道新幹線停車駅）と会場間は、機構手配のバスを利用いただきます。

○託児室の利用

ホテル内に託児室を設置する予定ですので、希望される参加者の方は、ご利用いただけます。

・開設日時

2019年12月10日(火) 10:30～18:00

2019年12月11日(水) 8:00～13:00

・対象

0歳児から6歳まで（未就学児）

プログラム構成

研究者を中心としたクローズドの討論会であり、合宿スタイルで、講演、分科会及び全体総括を行います。詳細は次のとおりです。

1) 基調講演

分科会の各テーマに関連した内容で行います。

- ・分科会1 「多様性」異なるものの間の相互作用
- ・分科会2 「予測」とは何か？

2) 分科会

分科会は、様々な分野の研究者20名程度で構成し、それぞれの分科会において座長を中心にブレインストーミングを行います。

3) ポスターセッション※

若手研究者を中心に、ポスターを使用して研究内容を発表していただきます。

4) 1分間トーク※

全員で1分間トークを行い、自己紹介・研究紹介をしていただきます。

4) 全体総括

I-URIC フロンティアコロキウム 2019 としての全体総括を行います。

(※クロストークとの合同イベント)

スケジュール

第1日目：2019年12月10日（火）

	～11:30	ポスター掲示	
	11:30-12:00	開会、趣旨説明（昼食）	
※	基調講演		会場：コンベンションホールL
	12:00-12:45	講演1 関 雄二（人間文化研究機構国立民族学博物館 教授）	
	12:45-13:30	講演2 山根 悠介（常葉大学教育学部 准教授）	
	13:30-13:45	移動・休憩	
	分科会		会場：カンファレンスセンター
	13:45-16:15	分科会1 「多様性」	会場：カンファレンスセンターA室
		座長	雨宮 健太（高エネルギー加速器研究機構） 安達 真弓（人間文化研究機構）
		分科会2 「予測」	会場：カンファレンスセンターB室
		座長	吉村 信次（自然科学研究機構核融合科学研究所） 村上 大輔（情報・システム研究機構統計数理研究所）
		クロストーク	会場：カンファレンスセンターC室
	16:15-16:30	移動・休憩	
※	16:30-17:30	1分トーク（クロストークとの合同イベント）	会場：カンファレンスセンターC室
	17:30-18:00	チェックイン	
※	交流会		会場：コンベンションホールL室
	18:00-19:00	交流会1	
	19:00-20:00	交流会2 ポスターセッション	

第2日目：2019年12月11日（水）

	分科会		会場：カンファレンスセンター
	9:00-12:00	分科会1 「多様性」	会場：カンファレンスセンターA室
		座長	雨宮 健太（高エネルギー加速器研究機構） 安達 真弓（人間文化研究機構）
		分科会2 「予測」	会場：カンファレンスセンターB室
		座長	吉村 信次（自然科学研究機構核融合科学研究所） 村上 大輔（情報・システム研究機構統計数理研究所）
		クロストーク	会場：カンファレンスセンターC室
※	12:00-13:00	総括	会場：コンベンションホールL
	13:00	閉会	

※はクロストークと合同

分科会1 「多様性」異なるものの間の相互作用

座長

雨宮 健太 (高エネルギー加速器研究機構)

安達 真弓 (人間文化研究機構)

話題提供者

関 雄二 (人間文化研究機構国立民族学博物館 教授)

分科会概要

多様性は、新しい何かを生み出し、将来のブレークスルーを生み出す根源であると考えられている。しかし、その多様性を生み出し、維持し、発展させる過程の中で、必ず、異なるものが接し、様々な相互作用を生じる。例えば、ある集団が他のものを異物や異者と認識した場合、それを拒絶することもあれば、受容して変化していくこともある。このような、異なるもの間に生じる相互作用は、微生物学や免疫学、また、人類学や民俗学に至るまで、さまざまなレベルで、さまざまなメカニズムによって生み出されている。各分野における異なるもの間の相互作用のメカニズムについて勉強し、階層を超えた共通基盤を探ることを目的とする。

分科会2 「予測」とは何か？

座長

吉村 信次 (自然科学研究機構核融合科学研究所)

村上 大輔 (情報・システム研究機構統計数理研究所)

話題提供者

山根 悠介 (常葉大学教育学部 准教授)

(その他 調整中)

分科会概要

因果的決定論であるニュートン物理学においては初期状態が決まればボールの動きが「予測」できることは当たり前のことであるが、長期の予測が事実上不可能なカオス系も存在する。また、生物学や進化学、気候変動、株価などなど、多変量で高度に複雑な学問分野においては未来を予測することは困難に思える。予測に潜む不確実性をどのように捉え取り扱うべきであろうか。一方、ビッグデータ解析やそれを基盤とした人工知能は、過去から未来を推論する手段になり得るが、あくまで帰納的な手法に過ぎず、それを超えた予測が可能なのか、いまだ知りえない。まして、人類学や歴史学は予測そのものが成り立たないであろう。そもそも「予測」とは何かについて、各分野の事例をもとに検証し、一定の共通理解を引き出せるか、議論する。

(問い合わせ先)

■講演や分科会など会の内容に関すること

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

研究力強化推進本部 特任教授 小泉 周

TEL : 03-5425-1301 FAX : 03-5425-2049

E-mail : a.koizumi@nins.jp

■旅費など事務的な内容に関すること

大学共同利用機関法人自然科学研究機構

事務局企画連携拠点研究支援係

TEL : 03-5425-2039 FAX : 03-5425-2049

E-mail : nins-kenkyu@nins.jp